

痛みと漢方

責任者:平田 道彦

コメンテーター:園田 拓郎

痛みの治療は診療科を問わない臨床課題であるにもかかわらず、医療者が十分にその責務を果たしているとは言いがたい。特に慢性疼痛の治療は西洋医学的にはしばしば困難で患者を「痛みの難民」としてしまっている現状が一般である。漢方医学は痛みの治療の現場において非常に有用である。このことは今や常識であり、西洋医学的痛みの治療の世界に自信を持って提言できる知識と経験は日々山積されている。この車座では症候と症例を実際に提示して、参加者全員が治療者となって、知恵と手技を披瀝し合う学びと研鑽の時間を創出したい。車座の座長はペインクリニックである小生が拝命するが、痛みの治療を専門にしない診療科、診療分野の諸氏のご参加を期待する。特に、本総会の主要テーマの「気」に関する痛みは昨今実に多く、精神心理的側面から「痛み」について一言お持ちの方はお立ち寄り願いたい。